

地域配送事業者と航空貨物活用したモーダルシフト

協議会名: 航空貨物幹線及び地域配送網構築推進協議会

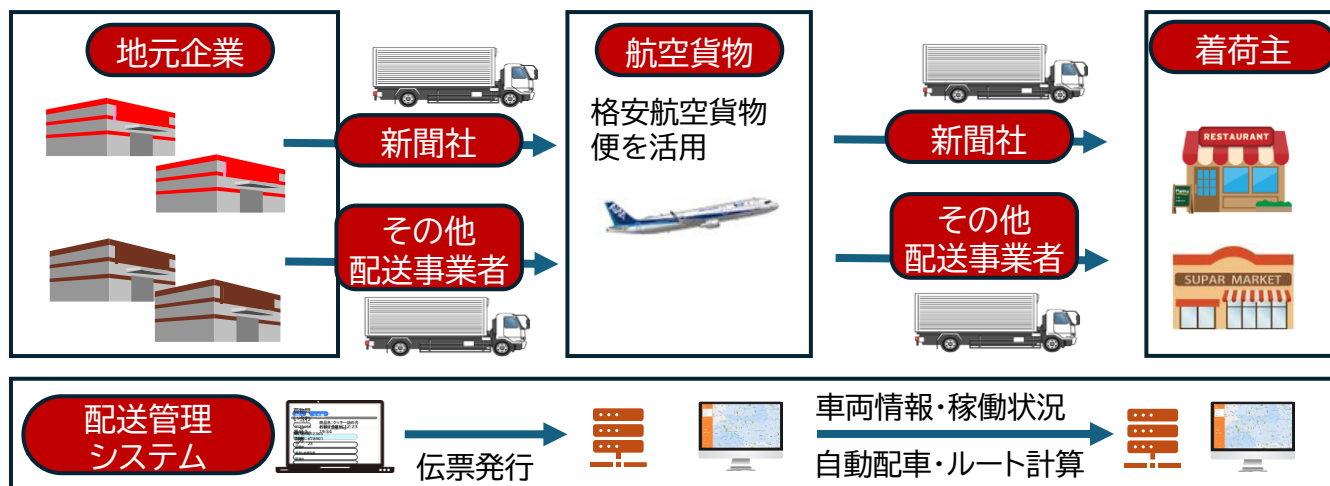
協議会構成員
鹿児島県、株式会社ANA Cargo、株式会社エニキャリア

【事業実施背景】

トラックドライバー高齢化に伴い労働力が2030年には激減し、物流需要の約34%が配送出来なくなる試算が出されている。特に幹線輸送に関しての影響が大きく、配送リードタイムの大幅延長や輸送能力の低下の可能性がある。「地域の配送リソースを活用したラストワンマイル」、「航空貨物便の空きスペースの活用」を主軸とした、トラック幹線代替手段の早期実現が必要であると考え、本事業の参画に至った。

事業内容

Point 九州と首都圏のラストマイル配送網を航空貨物幹線で繋げる事で、新たなモーダルシフト幹線を構築する事が可能。具体的なサービスを提示し、荷主ニーズの検証を行う。また、荷主の依頼方法や具体的なオペレーション組み立ても合わせて検証する。



想定事業実施効果

- ・航空機の空きスペースとトラックの空きスペース（例えば新聞社配送網）を可視化し、各種リソースをシェアリングする事によって効率化を図る
- ・空きリソースを活用する事によって配送コスト10%以上の削減、九州から東京への当日配送の実現を目指す
- ・2030年の物流供給不足解消と共に、航空機を活用した新たな幹線配送網の構築へ貢献出来る
- ・通常商品のみではなく、農産品や海産物なども安価な当日配送が可能となり、九州産品の首都圏への新規販路拡大へも繋がる